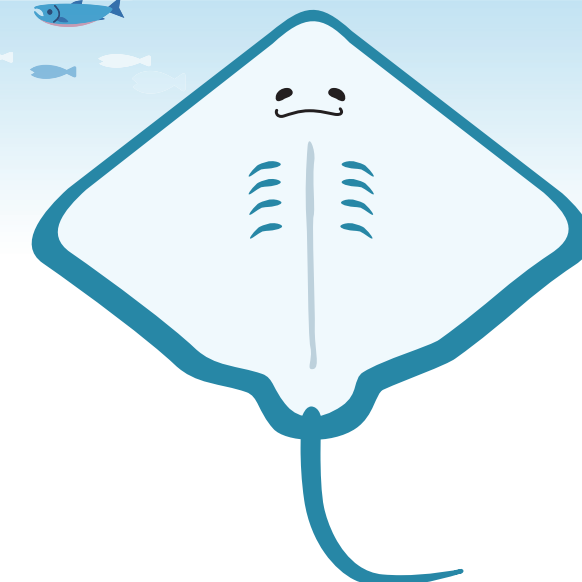


エイ由来の コンドロイチン硫酸オリゴ糖が ひざ関節の痛みを軽減。

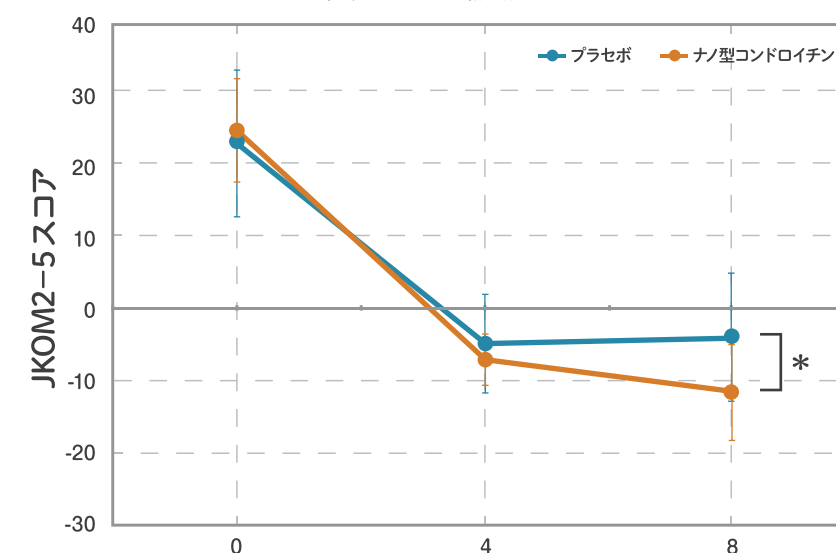


ガンギエイ由来のコンドロイチン硫酸オリゴ糖の経口摂取が健常人のひざ関節の痛みを軽減し、ロコモティブシンドロームのリスクを軽減する可能性が示されました



〈図〉コンドロイチン硫酸オリゴ糖投与による JKOM 尺度の比較 (膝の痛みに関する VAS スコアが平均より上か下かによる層別解析)

VASスコアが最低だった被験者のJKOM2-5スコア



本研究では健常成人 60 名を被験者(コンドロイチン硫酸オリゴ糖摂取群:30 名、プラセボ摂取群:30 名)に 8 週間、被験食 (1 日あたりコンドロイチン硫酸オリゴ糖 100mg またはプラセボを含有したカプセル)を摂取させ、VAS による膝関節の痛みの主観評価と、JKOM (日本変形性膝関節症評価尺度) による評価を行った。JKOM2-5 は膝の痛みやこわばり、日常生活の状態、ふだんの活動、健康状態に関する合計 25 項目の質問の回答をスコア化したもの。